

Excel 復習講座

2021年1月12・19日
パソコンを使いこなす会

【第19・20回分科会のテーマ：一数式や関数の利用一】

技術評論社発行の『今すぐ使えるかんたんExcel2013』を参考書にしてエクセルの復習をします。対象はExcel2013ですが、Excel2007～2016でもほとんど違和感なく使えるはずで
す。今回と次回は、第3章「数式や関数の利用」を勉強します。

今回は、「数式や関数の利用」の以下10項目を演習します。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 数式の入力 | 6. 絶対参照の利用 |
| 2. 関数の入力 | 7. 複合参照の利用 |
| 3. 関数の組み合わせ | 8. 構造化参照の利用 |
| 4. 数式の参照範囲の変更 | 9. 代表的な関数 |
| 5. 参照方式の切り替え | 10. 数式のエラーを解決 |

【具体的内容：一数式や関数の利用一】

各項目に付記している（SS27）等は、参考書のSection番号です。なお、SS26「数式と関数の概要」については、第3章の概要ですので事前に目を通しておいて下さい。

1. 数式の入力（SS27）

サンプルファイル【SS27_第4四半期地区別売上.xlsx】を開く

- ① 数式を入力して計算する
- ② 数式にセル参照を利用して計算する
- ③ 他のセルに数式をコピーする

2. 関数の入力（SS28）

サンプルファイル【SS28_第4四半期地区別売上.xlsx】を開く

- ① <関数ライブラリ>から関数を入力する
- ② <関数の挿入>ボタンから関数を入力する
- ③ キーボードから関数を直接入力する

3. 関数の組み合わせ（SS29）

サンプルファイル【SS29_第4四半期地区別売上.xlsx】を開く

- ① 最初の関数を指定する
- ② 内側に追加する関数を指定する

③ 最初の関数に戻って引数を指定する

4. 数式の参照範囲の変更 (SS30)

サンプルファイル【SS30_下半期西地区売上高.xlsx】を開く

- ① 数式の参照先のセル範囲を移動する
- ② 数式の参照先のセル範囲を広げる

5. 参照方式の切り替え (SS31)

新しいシートを開く

- ① 相対参照・絶対参照・複合参照の違い
- ② 参照方式を切り替えるには

6. 絶対参照の利用 (SS32)

サンプルファイル【SS32_原価計算表.xlsx】を開く

- ① 相対参照でコピーするとエラーが表示される
- ② 数式を絶対参照にしてコピーする

7. 複合参照の利用 (SS33)

サンプルファイル【SS33_原価計算表.xlsx】を開く

- ① 複合参照でコピーする

8. 構造化参照の利用 (SS34)

サンプルファイル【SS34_商品売上日報.xlsx】を開く

- ① 表をテーブルに変換する
- ② 構造化参照を利用する

9. 代表的な関数 (SS35)

サンプルファイル【SS35_関数_124-128p.xlsx】を開く

- ① 数値を四捨五入する関数—ROUND
(シート【ROUND】)
- ② 数値を切り上げる関数—ROUNDUP
(シート【ROUNDUP】)
- ③ 数値を切り捨てる関数—INT
(シート【INT】)
- ④ 条件に応じて処理を振り分ける関数—IF
(シート【IF】)
- ⑤ 条件を満たす数値の合計を求める関数—SUMIF
(シート【SUMIF】)
- ⑥ 条件を満たすセルの個数を求める関数—COUNTIF
(シート【COUNTIF】)

サンプルファイル【SS35_関数_129-131p.xlsx】を開く

- ⑦ 複数の数値を掛け合わせる関数—PRODUCT
(シート【PRODUCT】)
- ⑧ 現在の日付を表示する関数—TODAY
(シート【TODAY】)
- ⑨ 表から特定のデータを検索する関数—VLOOKUP
(シート【VLOOKUP】)
- ⑩ エラー値を表示させない関数—IFERROR
(シート【IFERROR】)

サンプルファイル【SS35_関数_132-133p.xlsx】を開く

- ⑪ 文字列を操作する関数
(シート【RIGHT】)
(シート【LEFT】)
(シート【MID】)
(シート【CONCATENATE】)
(シート【TEXT】)
(シート【SUBSTITUTE】)

10. 数式のエラーを解決 (SS36)

サンプルファイル【SS36_エラー.xlsx】を開く

- ① エラー値「#VALUE」が表示されたら… (シート【VALUE】)
- ② エラー値「#####」が表示されたら… (シート【####】)
- ③ エラー値「#NAME?」が表示されたら… (シート【NAME】)
- ④ エラー値「#DIV/0!」が表示されたら… (シート【DIV】)
- ⑤ エラー値「#N/A」が表示されたら… (シート【NA】)
- ⑥ 数式を検証する (シート【検証】)
- ⑦ 循環参照を解消する (シート【循環参照】)
- ⑧ ワークシート全体のエラーをチェックする (シート【検証02】)

以上

《参考書》

【今すぐ使えるかんたん Excel 2013】

<https://gihyo.jp/book/2013/978-4-7741-5536-4>



【今すぐ使えるかんたん Excel 2013 サポートページ】

本書のサンプルファイルをダウンロードできます。データは、圧縮ファイル形式でダウンロードできます。圧縮ファイルをダウンロードしていただき、適宜解凍してご利用ください。

《サンプルファイル》

<https://gihyo.jp/book/2013/978-4-7741-5536-4/support>